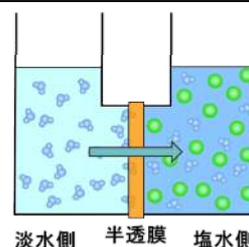


整理番号	HT25210	分野	自然、化学	(キーワード)自然エネルギー
------	---------	----	-------	----------------

山口大学

未来の発電方法～海水と河川水を利用する浸透圧発電～

先生(代表者)	比嘉 充(ひが みつる)大学院理工学研究科・教授				
自己紹介	私は沖縄生まれ育ちで、青い海を眺めるのが好きでした。沖縄には海の向こうに理想郷(ニライカナイ)があるという言い伝えがあります。現在我が国では海水から食塩や飲み水を造っていますが、それ以外にも多くの資源やエネルギーを取ることが出来たら、日本は資源大国になります。それを夢見て日々研究しています。				
開催日時・ 主な募集対象	平成25年 8月 4日(日)	(対象)	高校生	(人数)	40名
集合場所・時間	山口大学 工学部 総合研究棟1階ロビー	(集合時間)	9:30		
開催会場 (集合場所)	山口大学 工学部 住所:〒755-8611 山口県宇部市常盤台2丁目16-1 アクセスマップ: http://www.eng.yamaguchi-u.ac.jp/10info/access.html				
内 容					
<p>U字型の管にセロハンフィルム(半透膜)を挟んで塩水と水を入れると、塩水側に水が移動して水面が高くなる現象を見たことはありませんか? このような中学校で習う現象を応用して、水力発電を行うのが「浸透圧発電」です。海水と淡水では約30気圧の浸透圧が生じて、これは高さ約300mの水力発電ダムに相当します。海水と淡水の濃度差だけで発電ができるので、とてもクリーンな発電方法で、風まかせ、お日様まかせの風力発電や太陽電池と違って、いつでも安定した発電ができます。みなさんには浸透圧発電のような、濃度差で発電する装置に海水と淡水を入れて実際に発電してもらいます。クリーンで新しいエネルギーを体験してみませんか。</p>					
スケジュール				持 ち 物	
<p>9:30～10:00 受付(工学部 総合研究棟1F ロビー)</p> <p>10:00～10:30 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)</p> <p>10:30～11:20 講義「未来の発電方法～浸透圧発電～」(講師:比嘉充)</p> <p>11:20～11:40 実習1「実験装置を用いた浸透圧と膜電位の現地説明と発電原理の解説」</p> <p>11:40～12:40 昼食(食事とあわせて懇談)</p> <p>12:40～14:00 実習2「浸透圧発電装置と逆電気透析による模擬発電」</p> <p>14:00～14:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)</p> <p>14:30 終了・解散</p>				<p>筆記用具</p>	
				特 記 事 項	



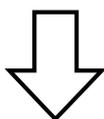
淡水側 半透膜 塩水側

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	山口大学大学院理工学研究科・助教 遠藤 宣隆(えんどう のぶたか)
住所：	〒755-8611 山口県宇部市常盤台2丁目16-1
TEL 番号：	0836-85-9204
FAX 番号：	0836-85-9601
E-mail：	n-endo@yamaguchi-u.ac.jp
申込締切日：	平成25年8月2日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
比嘉 充	H22-24	基盤研究(B)	22360411	新規イオンバリアー荷電膜を用いた浸透圧発電システムの開発



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。